

ほくとしんきん中小企業景況レポート

(第 89 回)

令和 6 年 10~12 月期実績 / 令和 7 年 1~3 月期見通し
特別調査「2025 年（令和 7 年）の経営見通しについて」

- 調査時点：令和 6 年 12 月上旬
- 調査方法：原則として当金庫職員による聞き取り調査
- 地区区分：丹後地区（宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町）、舞鶴地区（舞鶴市）、
福知山・綾部地区（福知山市、綾部市、京丹波町）
- 依頼数：570 先
- 回答数：536 先（回答率 94.0%）
- 分析方法：各質問項目について、「増加（良い）」－「減少（悪い）」の構成比の差。
業況判断 D. I. (Diffusion Index) に基づく分析。
- 地区別・業種別回答数

業種	丹後地区	舞鶴地区	福知山・綾部地区	全地区
製造業	58	28	44	130
卸売業	15	15	25	55
小売業	41	30	53	124
サービス業	40	30	33	103
建設業	26	28	46	100
不動産業	5	10	9	24
合計	185	141	210	536

令和 7 年 1 月

京都北都信用金庫

経営企画部 経営企画課

1. 概要

■ 京都府北部の業況判断 D. I. の推移（業種別・地区別）

調査時期	R5. 12	R6. 3	6	9	12	前期比	来期予想
全地区（京都府北部）	△ 19. 1	△ 28. 7	△ 25. 5	△ 18. 2	△ 22. 2	△ 4. 0	△ 30. 0
製造業	△ 22. 2	△ 38. 5	△ 32. 8	△ 31. 0	△ 23. 9	7. 1	△ 32. 6
卸売業	△ 24. 1	△ 47. 3	△ 31. 5	△ 38. 9	△ 32. 7	6. 2	△ 41. 8
小売業	△ 31. 0	△ 43. 0	△ 26. 4	△ 19. 4	△ 44. 4	△ 25. 0	△ 43. 1
サービス業	△ 6. 7	△ 19. 2	△ 20. 2	△ 2. 9	1. 0	3. 9	△ 14. 6
建設業	△ 13. 9	△ 3. 9	△ 20. 6	△ 4. 9	△ 12. 0	△ 7. 1	△ 18. 0
不動産業	△ 4. 0	△ 4. 0	△ 11. 5	△ 19. 2	△ 16. 7	2. 5	△ 37. 5
丹後地区	△ 16. 1	△ 33. 3	△ 28. 4	△ 14. 9	△ 20. 5	△ 5. 6	△ 31. 9
舞鶴地区	△ 21. 4	△ 29. 8	△ 22. 3	△ 19. 4	△ 28. 4	△ 9. 0	△ 33. 3
福知山・綾部地区	△ 20. 4	△ 23. 6	△ 24. 8	△ 20. 4	△ 19. 5	0. 9	△ 26. 0
日銀短観(全国)	13. 0	12. 0	12. 0	14. 0	15. 0	1. 0	10. 0
日銀短観（京滋）	11. 0	9. 0	9. 0	11. 0	12. 0	1. 0	6. 0
信金中金（全国）	△ 3. 3	△ 9. 3	△ 7. 8	△ 5. 6	△ 2. 6	3. 0	△ 7. 8

- 京都府北部の今期（令和6年12月期）の業況判断 D. I. は、前期比 4.0 ポイント低下の△22.2 となりました。
- 業種別では、小売業、建設業が悪化し、なかでも小売業は同 25.0 ポイント低下の△44.4 となりました。
- 地区別では、丹後地区、舞鶴地区が悪化し、なかでも舞鶴地区は同 9.0 ポイント低下の△28.4 となりました。
- 信金中央金庫（全国）の業況判断 D. I. は、同 3.0 ポイント上昇の△2.6 となり、当金庫調査の業況判断 D. I. を 19.6 ポイント上回りました。
- 京都府北部の来期（令和7年3月期）の予想業況判断 D. I. は、今期実績比 7.8 ポイント低下の△30.0 と悪化する見通しです。

■ 丹後地区の業況判断 D. I. の推移（業種別）

調査時期	R5. 12	R6. 3	6	9	12	前期比	来期予想
丹後地区	△ 16. 1	△ 33. 3	△ 28. 4	△ 14. 9	△ 20. 5	△ 5. 6	△ 31. 9
製造業	△ 22. 4	△ 35. 0	△ 30. 6	△ 25. 9	△ 31. 0	△ 5. 1	△ 36. 9
卸売業	△ 20. 0	△ 68. 8	△ 37. 5	△ 53. 3	△ 20. 0	33. 3	△ 26. 7
小売業	△ 11. 1	△ 42. 2	△ 23. 9	△ 7. 1	△ 48. 8	△ 41. 7	△ 42. 9
サービス業	0. 0	△ 15. 0	△ 20. 0	17. 5	17. 5	0. 0	△ 10. 0
建設業	△ 32. 1	△ 21. 4	△ 40. 7	△ 25. 9	△ 19. 2	6. 7	△ 38. 5
不動産業	△ 16. 7	△ 33. 3	△ 16. 7	△ 33. 3	20. 0	53. 3	△ 40. 0

- 丹後地区の今期の業況判断D. I. は、前期比 5.6 ポイント低下の△20.5 となりました。
- 業種別では、製造業、小売業が悪化し、なかでも小売業は同41.7ポイント低下の△48.8 となりました。

■ 舞鶴地区の業況判断D. I. の推移（業種別）

調査時期	R5.12	R6.3	6	9	12	前期比	来期予想
舞鶴地区	△ 21.4	△ 29.8	△ 22.3	△ 19.4	△ 28.4	△ 9.0	△ 33.3
製造業	△ 29.6	△ 40.8	△ 34.6	△ 35.7	△ 28.6	7.1	△ 25.0
卸売業	△ 26.7	△ 46.7	△ 28.6	△ 50.0	△ 40.0	10.0	△ 46.7
小売業	△ 46.7	△ 46.7	△ 26.7	△ 13.8	△ 46.7	△ 32.9	△ 50.0
サービス業	△ 9.4	△ 45.2	△ 19.4	△ 23.3	△ 20.0	3.3	△ 30.0
建設業	7.4	17.9	△ 3.6	21.4	△ 3.6	△ 25.0	△ 10.7
不動産業	△ 33.3	△ 10.0	△ 30.0	△ 50.0	△ 50.0	0.0	△ 60.0

- 舞鶴地区の今期の業況判断D. I. は、前期比 9.0 ポイント低下の△28.4 となりました。
- 業種別では、小売業、建設業が悪化し、なかでも小売業は同 32.9 ポイント低下の△46.7 となりました。

■ 福知山・綾部地区の業況判断D. I. の推移（業種別）

調査時期	R5.12	R6.3	6	9	12	前期比	来期予想
福知山・綾部地区	△ 20.4	△ 23.6	△ 24.8	△ 20.4	△ 19.5	0.9	△ 26.0
製造業	△ 17.1	△ 41.9	△ 34.9	△ 34.9	△ 11.4	23.5	△ 31.8
卸売業	△ 25.0	△ 33.3	△ 29.2	△ 24.0	△ 36.0	△ 12.0	△ 48.0
小売業	△ 38.9	△ 41.5	△ 28.3	△ 32.1	△ 39.6	△ 7.5	△ 39.2
サービス業	△ 12.9	0.0	△ 21.2	△ 9.1	0.0	9.1	△ 6.1
建設業	△ 15.2	△ 6.5	△ 19.2	△ 8.5	△ 13.0	△ 4.5	△ 10.9
不動産業	30.0	22.2	10.0	20.0	0.0	△ 20.0	△ 11.1

- 福知山・綾部地区の今期の業況判断D. I. は、前期比 0.9 ポイント上昇の△19.5 となりました。
- 業種別では、製造業、サービス業が改善し、なかでも製造業は同 23.5 ポイント上昇の△11.4 となりました。

2. 京都府北部の業種別景況

① 全業種

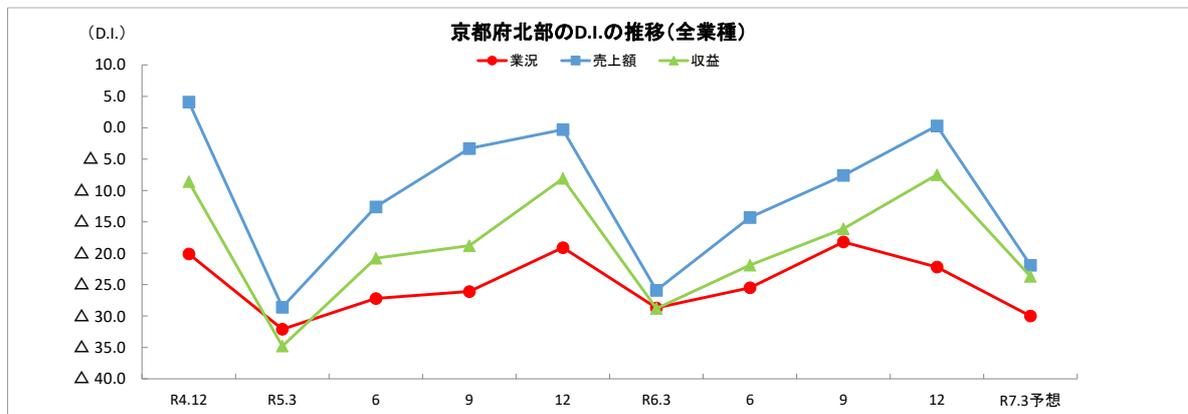
■ 全業種のD.I.の推移

調査時期	R5.12	R6.3	6	9	12	前期比	来期予想
業況※	△ 19.1	△ 28.7	△ 25.5	△ 18.2	△ 22.2	△ 4.0	△ 30.0
売上額	△ 0.3	△ 25.9	△ 14.3	△ 7.6	0.3	7.9	△ 21.9
収益	△ 8.1	△ 28.8	△ 21.9	△ 16.1	△ 7.5	8.6	△ 23.7
販売・請負価格	28.7	17.3	21.2	21.0	25.9	4.9	15.9
仕入・材料価格	54.3	47.1	55.6	50.8	53.4	2.6	40.5
在庫	2.1	0.9	2.5	2.3	2.8	0.5	△ 0.7
資金繰り	△ 16.6	△ 21.0	△ 17.6	△ 15.8	△ 14.0	1.8	△ 18.4
前年同期比売上額	△ 10.0	△ 16.0	△ 11.3	△ 8.7	△ 10.4	△ 1.7	-
前年同期比収益	△ 19.7	△ 20.2	△ 17.7	△ 15.2	△ 19.4	△ 4.2	-
残業時間	△ 0.9	△ 5.9	△ 10.8	△ 3.7	△ 1.3	2.4	△ 4.5
人手	△ 34.1	△ 29.7	△ 26.1	△ 29.6	△ 35.1	△ 5.5	△ 31.5
借入実施割合 (%)	20.5	21.5	18.0	21.2	18.8	△ 2.4	14.1

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成30年12月期の△8.3、最低値：平成21年6月期の△68.3

- 京都府北部の業況判断D.I.は、前期比4.0ポイント低下の△22.2となりました。
- 売上額判断D.I.は、同7.9ポイント上昇の0.3となりました。
- 収益判断D.I.は、同8.6ポイント上昇の△7.5となりました。
- 来期（令和7年3月期）の予想業況判断D.I.は、今期実績比7.8ポイント低下の△30.0と悪化する見通しです。



■ 全業種：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
売上の停滞・減少	44.6 (①42.8)	経費の節減	48.3 (①46.7)
人手不足	31.7 (②32.9)	販路の拡張	35.6 (③33.3)
原材料高	29.1 (③26.8)	人材の確保	33.4 (②35.7)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

② 製造業

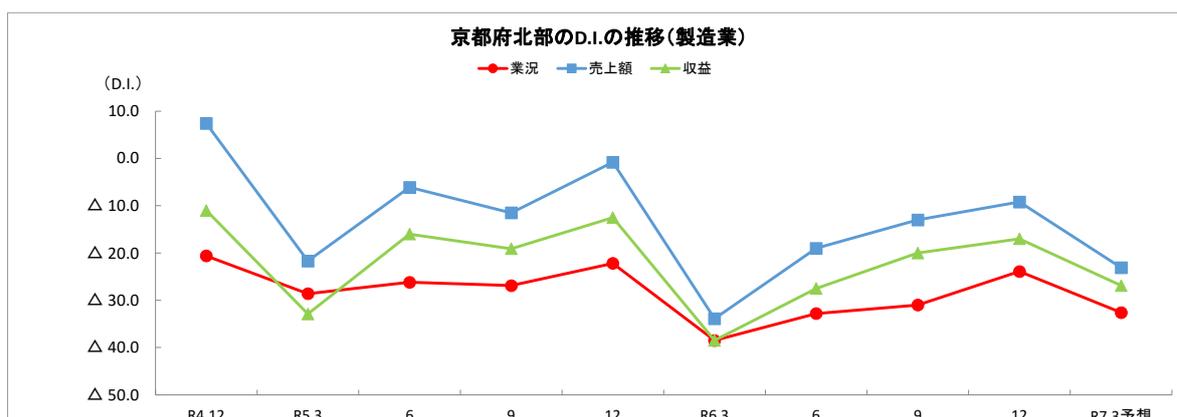
■ 製造業のD.I.の推移

調査時期	R5.12	R6.3	6	9	12	前期比	来期予想
業況※	△ 22.2	△ 38.5	△ 32.8	△ 31.0	△ 23.9	7.1	△ 32.6
売上額	△ 0.8	△ 33.9	△ 19.0	△ 13.0	△ 9.2	3.8	△ 23.1
受注残	△ 13.3	△ 21.7	△ 19.1	△ 11.7	△ 11.5	0.2	△ 17.0
収益	△ 12.5	△ 38.5	△ 27.5	△ 20.0	△ 17.0	3.0	△ 26.9
販売価格	20.4	14.0	11.6	12.5	11.6	△ 0.9	13.1
原材料価格	45.6	46.9	41.5	42.7	41.1	△ 1.6	38.8
原材料在庫	3.9	5.5	12.4	10.9	3.1	△ 7.8	1.6
資金繰り	△ 14.1	△ 24.6	△ 21.4	△ 17.8	△ 16.3	1.5	△ 19.4
前年同期比売上額	△ 5.5	△ 20.0	△ 20.6	△ 11.5	△ 16.2	△ 4.7	-
前年同期比収益	△ 17.3	△ 26.9	△ 26.0	△ 20.9	△ 27.7	△ 6.8	-
残業時間	△ 6.3	△ 17.1	△ 16.9	△ 10.1	△ 5.4	4.7	△ 9.3
人手	△ 21.4	△ 16.3	△ 9.9	△ 14.6	△ 26.2	△ 11.6	△ 26.9
借入実施割合 (%)	13.3	13.1	14.5	17.8	12.4	△ 5.4	8.1

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成30年12月期の△2.2、最低値：令和2年6月期の△79.0

- 製造業の今期の業況判断D.I.は、前期比7.1ポイント上昇の△23.9となりました。
- 業種分類別（回答数上位3業種）では、「食料品」が同14.3ポイント上昇の0.0、「一般機械器具」が同5.9ポイント上昇の△5.9、「繊維工業」が同1.4ポイント低下の△21.4となりました。
- 売上額判断D.I.は、同3.8ポイント上昇の△9.2となりました。
- 収益判断D.I.は、同3.0ポイント上昇の△17.0となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比8.7ポイント低下の△32.6と悪化する見通しです。



■ 製造業：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
売上の停滞・減少	50.0 (①52.7)	販路の拡張	50.8 (②46.5)
原材料高	41.5 (②39.5)	経費の節減	43.1 (①48.1)
人件費の増加	24.6 (⑤22.5)	人材の確保	37.7 (③32.6)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

③ 卸売業

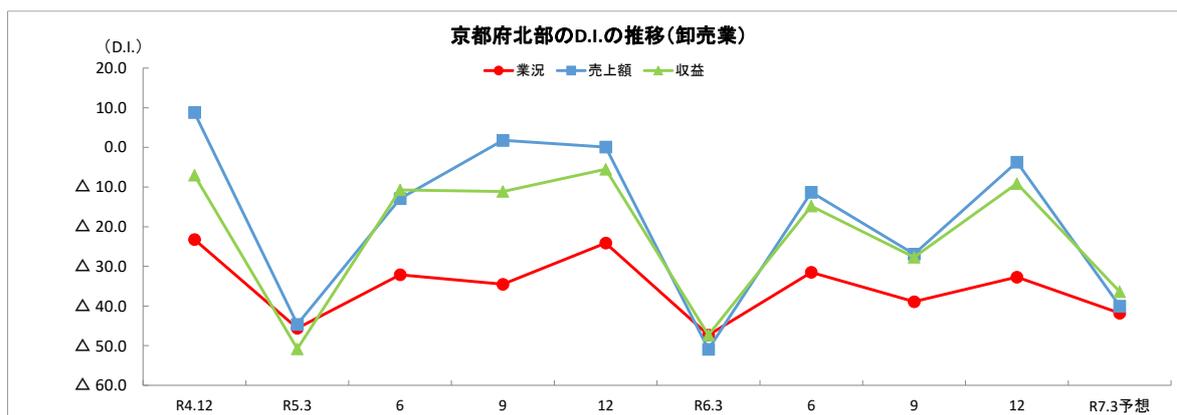
■ 卸売業のD.I.の推移

調査時期	R5.12	R6.3	6	9	12	前期比	来期予想
業況※	△ 24.1	△ 47.3	△ 31.5	△ 38.9	△ 32.7	6.2	△ 41.8
売上額	0.1	△ 50.9	△ 11.3	△ 26.9	△ 3.7	23.2	△ 40.0
収益	△ 5.5	△ 47.3	△ 14.8	△ 27.7	△ 9.1	18.6	△ 36.4
販売価格	37.0	25.5	48.1	37.0	45.5	8.5	25.5
仕入価格	42.6	40.1	61.2	51.8	58.0	6.2	30.9
在庫	24.1	25.5	18.5	20.4	16.4	△ 4.0	9.0
資金繰り	△ 25.9	△ 27.3	△ 22.2	△ 25.9	△ 25.5	0.4	△ 21.8
前年同期比売上額	△ 7.4	△ 23.6	△ 24.5	△ 22.2	△ 23.6	△ 1.4	-
前年同期比収益	△ 22.2	△ 14.5	△ 28.3	△ 24.1	△ 25.5	△ 1.4	-
前年同期比販売価格	61.1	54.5	59.3	46.3	50.9	4.6	-
残業時間	7.5	△ 5.7	△ 5.7	3.8	5.6	1.8	△ 3.7
人手	△ 35.2	△ 31.5	△ 29.6	△ 31.5	△ 29.1	2.4	△ 20.0
借入実施割合 (%)	22.2	16.4	27.8	31.5	22.2	△ 9.3	13.5

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成26年12月期の△10.9、最低値：令和2年6月期の△81.0

- 卸売業の今期の業況判断D.I.は、前期比6.2ポイント上昇の△32.7となりました。
- 業種分類別（回答数上位3業種）では、「建築材料」が同12.1ポイント上昇の△41.7、「食料・飲料」が同11.4ポイント上昇の△25.0、「機械器具」が横ばいの△41.7となりました。
- 売上額判断D.I.は、同23.2ポイント上昇の△3.7となりました。
- 収益判断D.I.は、同18.6ポイント上昇の△9.1となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比9.1ポイント低下の△41.8と悪化する見通しです。



■ 卸売業：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
売上の停滞・減少	50.9 (①55.6)	販路の拡張	61.8 (①59.3)
値上げ要請	30.9 (④22.2)	経費の節減	50.9 (②48.1)
同業者間の競争の激化	25.5 (②31.5)	人材の確保	30.9 (④31.5)
取引先の減少	25.5 (⑤14.8)	—	—

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

④ 小売業

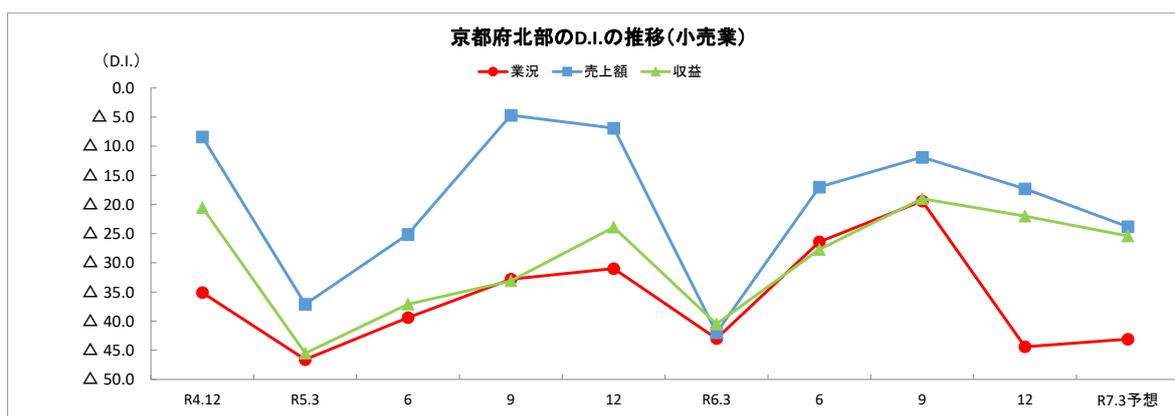
■ 小売業のD.I.の推移

調査時期	R5.12	R6.3	6	9	12	前期比	来期予想
業況※	△ 31.0	△ 43.0	△ 26.4	△ 19.4	△ 44.4	△ 25.0	△ 43.1
売上額	△ 6.9	△ 42.0	△ 17.0	△ 11.9	△ 17.3	△ 5.4	△ 23.8
収益	△ 23.9	△ 40.5	△ 27.7	△ 19.0	△ 22.0	△ 3.0	△ 25.4
販売価格	49.2	32.1	36.9	27.8	36.2	8.4	34.9
仕入価格	63.7	51.0	62.3	54.3	55.9	1.6	46.8
在庫	△ 3.8	△ 8.4	△ 7.7	△ 5.6	2.4	8.0	△ 4.8
資金繰り	△ 27.7	△ 33.3	△ 32.3	△ 27.8	△ 22.8	5.0	△ 24.0
前年同期比売上額	△ 16.2	△ 20.2	△ 9.2	△ 5.5	△ 26.8	△ 21.3	-
前年同期比収益	△ 33.1	△ 26.4	△ 20.8	△ 17.3	△ 29.1	△ 11.8	-
前年同期比販売価格	55.4	54.3	48.5	44.9	38.6	△ 6.3	-
残業時間	2.3	△ 4.6	△ 3.9	△ 2.4	△ 2.4	0.0	△ 6.4
人手	△ 27.1	△ 26.7	△ 27.3	△ 29.1	△ 27.0	2.1	△ 27.0
借入実施割合 (%)	18.6	17.7	10.2	12.6	15.3	2.7	8.0

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：令和6年9月期の△19.4、最低値：平成21年3月期の△78.4

- 小売業の今期の業況判断D.I.は、前期比25.0ポイント低下の△44.4となりました。
- 業種分類別（回答数上位3業種）では、「飲食料品」が同37.3ポイント低下の△55.2、「燃料」が同22.7ポイント低下の△50.0、「自動車・自転車」が同27.8ポイント低下の△27.8となりました。
- 売上額判断D.I.は、同5.4ポイント低下の△17.3となりました。
- 収益判断D.I.は、同3.0ポイント低下の△22.0となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比1.3ポイント上昇の△43.1と改善する見通しです。



■ 小売業：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
売上の停滞・減少	54.0 (①50.0)	経費の節減	64.5 (①55.6)
利幅の縮小	32.3 (②27.4)	品揃えの改善	29.0 (②29.8)
人手不足	25.0 (②27.4)	宣伝・広告の強化	22.6 (⑤19.4)
値上げ要請	25.0 (⑤20.2)	—	—

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

⑤ サービス業

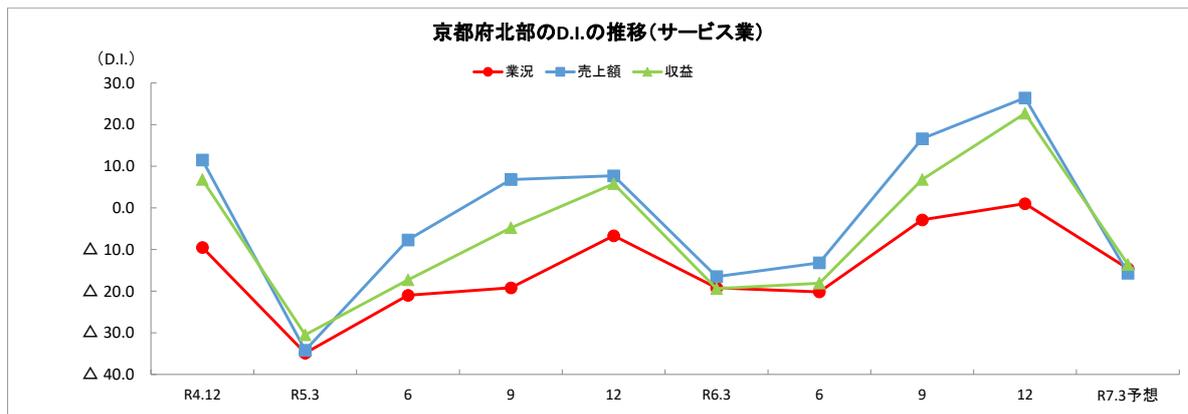
■ サービス業のD.I.の推移

調査時期	R5.12	R6.3	6	9	12	前期比	来期予想
業況※	△ 6.7	△ 19.2	△ 20.2	△ 2.9	1.0	3.9	△ 14.6
売上額	7.7	△ 16.5	△ 13.2	16.6	26.4	9.8	△ 15.7
収益	5.8	△ 19.4	△ 18.1	6.8	22.7	15.9	△ 13.6
料金価格	27.2	7.8	18.1	25.2	39.6	14.4	18.8
材料価格	62.8	48.5	60.2	62.1	64.3	2.2	40.5
資金繰り	△ 9.6	△ 16.5	△ 12.5	△ 9.7	△ 3.9	5.8	△ 12.7
前年同期比売上額	△ 3.9	△ 1.9	△ 7.6	5.9	13.9	8.0	-
前年同期比収益	△ 7.8	△ 9.7	△ 13.3	2.0	△ 5.9	△ 7.9	-
残業時間	4.9	0.0	△ 8.6	0.0	6.9	6.9	△ 1.0
人手	△ 49.0	△ 38.5	△ 27.9	△ 35.9	△ 48.0	△ 12.1	△ 33.3
借入実施割合 (%)	21.2	25.5	19.2	21.4	13.7	△ 7.7	10.8

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：令和6年9月期の△2.9、最低値：令和2年6月期の△81.6

- ・ サービス業の今期の業況判断D.I.は、前期比3.9ポイント上昇の1.0となりました。
- ・ 業種分類別（回答数上位3業種）では、「旅館、その他の宿泊所」が同8.1ポイント上昇の41.4、「その他のサービス業」が同3.4ポイント上昇の△13.3、「自動車整備および駐車場業」が同11.7ポイント上昇の△8.3となりました。
- ・ 売上額判断D.I.は、同9.8ポイント上昇の26.4となりました。
- ・ 収益判断D.I.は、同15.9ポイント上昇の22.7となりました。
- ・ 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比15.6ポイント低下の△14.6と悪化する見通しです。



■ サービス業：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
人手不足	48.5 (①46.6)	経費の節減	48.5 (①46.6)
材料価格の上昇	38.8 (②34.0)	人材の確保	41.7 (①46.6)
売上の停滞・減少	35.9 (③32.0)	販路の拡張	40.8 (③42.7)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

⑥ 建設業

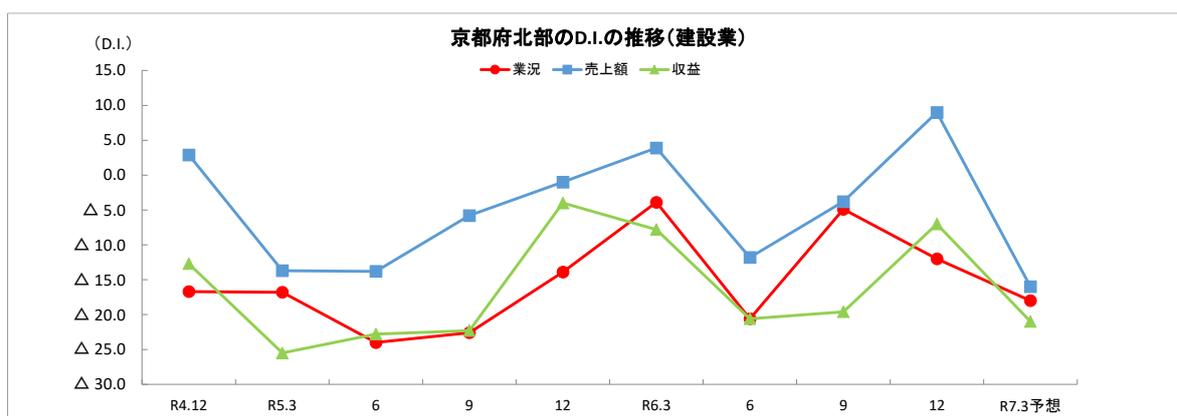
■ 建設業のD.I.の推移

調査時期	R5.12	R6.3	6	9	12	前期比	来期予想
業況※	△ 13.9	△ 3.9	△ 20.6	△ 4.9	△ 12.0	△ 7.1	△ 18.0
売上額	△ 1.0	3.9	△ 11.8	△ 3.8	9.0	12.8	△ 16.0
受注残	2.0	△ 25.5	△ 19.5	△ 10.8	1.0	11.8	△ 22.0
施工高	6.9	2.9	△ 21.6	△ 14.7	10.0	24.7	△ 12.0
収益	△ 4.0	△ 7.8	△ 20.6	△ 19.6	△ 7.0	12.6	△ 21.0
請負価格	19.8	11.8	6.9	16.7	14.0	△ 2.7	△ 4.0
材料価格	62.4	55.9	66.7	56.9	60.0	3.1	50.0
在庫	1.0	1.0	1.0	△ 1.0	△ 1.0	0.0	△ 2.0
資金繰り	△ 13.9	△ 7.8	△ 2.0	△ 6.9	△ 8.0	△ 1.1	△ 18.0
前年同期比売上額	△ 13.0	△ 16.7	△ 1.0	△ 13.7	0.0	13.7	-
前年同期比収益	△ 15.0	△ 20.6	△ 5.9	△ 16.7	△ 8.0	8.7	-
残業時間	△ 5.0	1.0	△ 19.8	△ 5.0	△ 6.3	△ 1.3	△ 1.0
人手	△ 46.0	△ 44.6	△ 42.6	△ 45.5	△ 50.5	△ 5.0	△ 49.5
借入実施割合 (%)	27.7	34.3	24.2	27.7	30.6	2.9	26.5

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成25年12月期の15.3、最低値：平成21年6月期の△56.5

- 建設業の今期の業況判断D.I.は、前期比7.1ポイント低下の△12.0となりました。
- 請負先別（回答数上位3先）では、「官公庁」が同7.2ポイント低下の△2.4、「中小企業」が同10.5ポイント低下の△17.2、「個人」が同21.7ポイント低下の△21.7となりました。
- 売上額判断D.I.は、同12.8ポイント上昇の9.0となりました。
- 収益判断D.I.は、同12.6ポイント上昇の△7.0となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比6.0ポイント低下の△18.0と悪化する見通しです。



■ 建設業：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
材料価格の上昇	60.0 (①53.9)	人材の確保	47.0 (①50.0)
人手不足	45.0 (②43.1)	販路の拡張	42.0 (③37.3)
売上の停滞・減少	32.0 (④27.5)	経費の節減	36.0 (②40.2)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

⑦ 不動産業

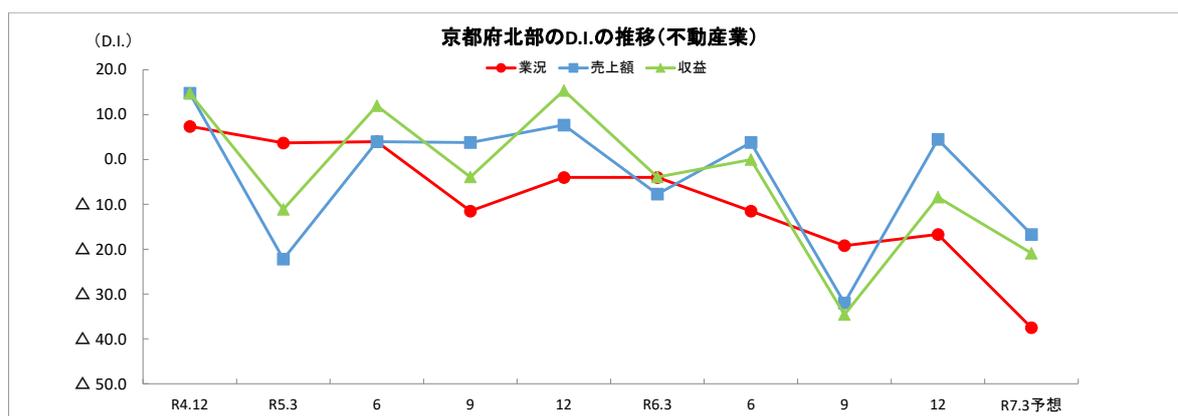
■ 不動産業のD.I.の推移

調査時期	R5.12	R6.3	6	9	12	前期比	来期予想
業況※	△ 4.0	△ 4.0	△ 11.5	△ 19.2	△ 16.7	2.5	△ 37.5
売上額	7.7	△ 7.7	3.8	△ 32.0	4.5	36.5	△ 16.7
収益	15.4	△ 3.9	0.0	△ 34.6	△ 8.4	26.2	△ 20.9
販売価格	△ 12.0	0.0	4.0	△ 4.0	△ 4.3	△ 0.3	△ 21.8
仕入価格	8.4	4.2	29.2	8.2	22.7	14.5	△ 4.6
在庫	△ 20.8	△ 29.2	△ 25.0	△ 29.2	△ 13.6	15.6	△ 9.1
資金繰り	8.0	4.0	4.0	16.0	4.3	△ 11.7	0.0
前年同期比売上額	△ 19.2	△ 11.5	△ 3.8	△ 19.2	△ 8.3	10.9	-
前年同期比収益	△ 23.1	△ 7.7	△ 3.8	△ 19.2	△ 12.5	6.7	-
残業時間	△ 15.4	△ 7.7	0.0	△ 4.0	△ 4.3	△ 0.3	0.0
人手	△ 23.1	△ 15.4	△ 23.1	△ 16.0	△ 21.7	△ 5.7	△ 21.8
借入実施割合 (%)	30.8	26.9	24.0	32.0	37.5	5.5	41.7

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成27年6月期の40.7、最低値：平成21年12月期の△59.1

- 不動産業の今期の業況判断D.I.は、前期比2.5ポイント上昇の△16.7となりました。
- 業種分類別（回答数上位3業種）では、「建売業・土地売買業」が同37.3ポイント上昇の10.0、「不動産代理業・仲介業」が同11.1ポイント上昇の△33.3、「貸事務所・土地賃貸業」が同166.7ポイント低下の△66.7となりました。
- 売上額判断D.I.は、同36.5ポイント上昇の4.5となりました。
- 収益判断D.I.は、同26.2ポイント上昇の△8.4となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比20.8ポイント低下の△37.5と悪化する見通しです。



■ 不動産業：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
同業者間の競争の激化	41.7 (①38.5)	情報力の強化	66.7 (①53.8)
売上の停滞・減少	41.7 (②34.6)	宣伝・広告の強化	45.8 (②50.0)
利幅の縮小	41.7 (②34.6)	経費の節減	37.5 (③19.2)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

3. 地区別の景況

① 丹後地区

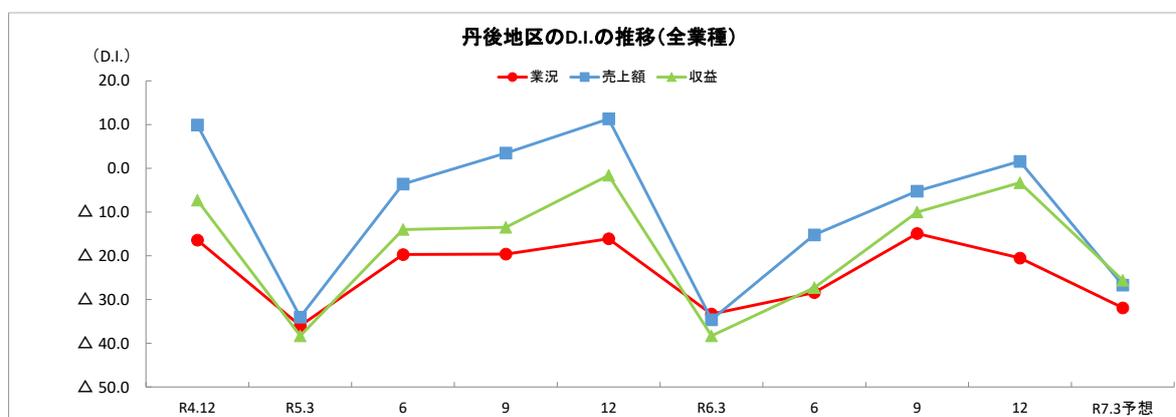
■ 丹後地区のD.I.の推移

調査時期	R5.12	R6.3	6	9	12	前期比	来期予想
業況※	△ 16.1	△ 33.3	△ 28.4	△ 14.9	△ 20.5	△ 5.6	△ 31.9
売上額	11.3	△ 34.6	△ 15.2	△ 5.2	1.6	6.8	△ 26.7
収益	△ 1.6	△ 38.3	△ 27.3	△ 10.0	△ 3.3	6.7	△ 25.6
販売・請負価格	37.0	15.5	20.3	22.8	31.2	8.4	19.9
仕入・材料価格	56.5	46.4	51.5	49.9	57.7	7.8	39.7
在庫	3.3	2.0	2.6	6.2	3.5	△ 2.7	△ 2.1
資金繰り	△ 13.5	△ 20.6	△ 18.4	△ 14.9	△ 13.4	1.5	△ 17.7
前年同期比売上額	3.6	△ 12.8	△ 8.6	△ 5.8	△ 14.4	△ 8.6	-
前年同期比収益	△ 10.4	△ 27.0	△ 22.2	△ 14.3	△ 21.4	△ 7.1	-
残業時間	2.6	△ 3.1	△ 12.9	△ 3.7	2.2	5.9	△ 2.7
人手	△ 36.8	△ 29.9	△ 20.9	△ 30.7	△ 41.4	△ 10.7	△ 35.5
借入実施割合 (%)	22.7	24.1	18.6	22.8	16.6	△ 6.2	11.5

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成30年12月期の△2.9、最低値：平成21年3月期の△79.5

- 丹後地区の今期の業況判断D.I.は、前期比5.6ポイント低下の△20.5となりました。
- 売上額判断D.I.は、同6.8ポイント上昇の1.6となりました。
- 収益判断D.I.は、同6.7ポイント上昇の△3.3となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比11.4ポイント低下の△31.9と悪化する見通しです。



■ 丹後地区：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
売上の停滞・減少	42.2 (①42.6)	経費の節減	46.5 (①45.7)
人手不足	37.8 (②34.0)	販路の拡張	40.0 (③35.6)
原材料高	29.7 (③28.2)	人材の確保	38.9 (②40.4)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

② 舞鶴地区

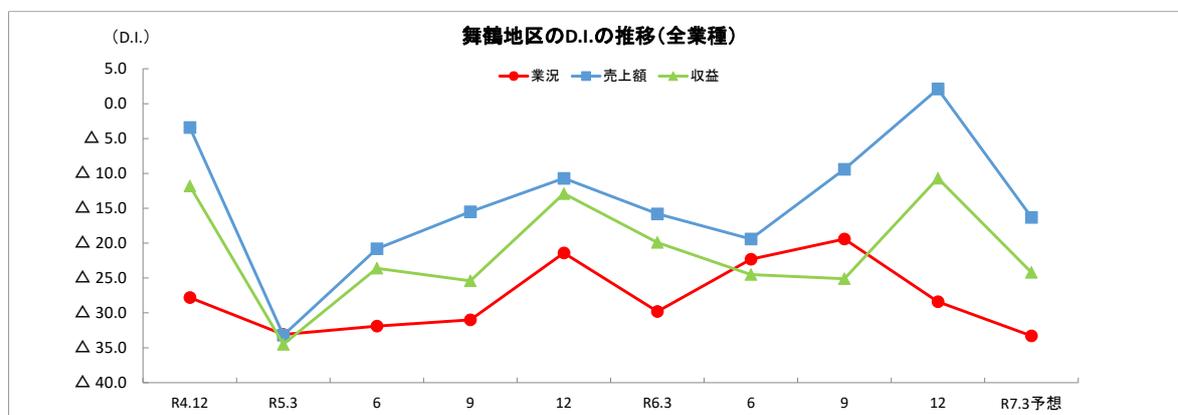
■ 舞鶴地区のD.I.の推移

調査時期	R5.12	R6.3	6	9	12	前期比	来期予想
業況※	△ 21.4	△ 29.8	△ 22.3	△ 19.4	△ 28.4	△ 9.0	△ 33.3
売上額	△ 10.7	△ 15.8	△ 19.4	△ 9.4	2.1	11.5	△ 16.3
収益	△ 12.9	△ 19.9	△ 24.5	△ 25.1	△ 10.7	14.4	△ 24.2
販売・請負価格	20.7	17.1	17.4	22.5	18.6	△ 3.9	10.8
仕入・材料価格	51.1	41.1	59.5	55.9	55.1	△ 0.8	40.0
在庫	0.9	2.8	△ 2.8	2.8	3.6	0.8	1.8
資金繰り	△ 24.8	△ 21.3	△ 21.6	△ 20.1	△ 19.3	0.8	△ 24.3
前年同期比売上額	△ 21.4	△ 9.9	△ 13.7	△ 9.4	△ 10.0	△ 0.6	-
前年同期比収益	△ 21.4	△ 7.1	△ 18.0	△ 19.4	△ 20.0	△ 0.6	-
残業時間	2.9	△ 5.8	△ 7.9	△ 1.4	△ 2.1	△ 0.7	△ 2.9
人手	△ 39.0	△ 30.7	△ 30.2	△ 26.6	△ 33.6	△ 7.0	△ 35.1
借入実施割合 (%)	18.4	20.0	18.8	23.0	20.1	△ 2.9	13.0

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：令和元年6月期の△12.5、最低値：令和2年6月期の△67.6

- 舞鶴地区の今期の業況判断D.I.は、前期比9.0ポイント低下の△28.4となりました。
- 売上額判断D.I.は、同11.5ポイント上昇の2.1となりました。
- 収益判断D.I.は、同14.4ポイント上昇の△10.7となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比4.9ポイント低下の△33.3と悪化する見通しです。



■ 舞鶴地区：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
売上の停滞・減少	47.5 (①41.7)	経費の節減	54.6 (①51.8)
原材料高	31.9 (②27.3)	販路の拡張	34.8 (③28.1)
人手不足	28.4 (③26.6)	人材の確保	25.5 (②33.1)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

③ 福知山・綾部地区

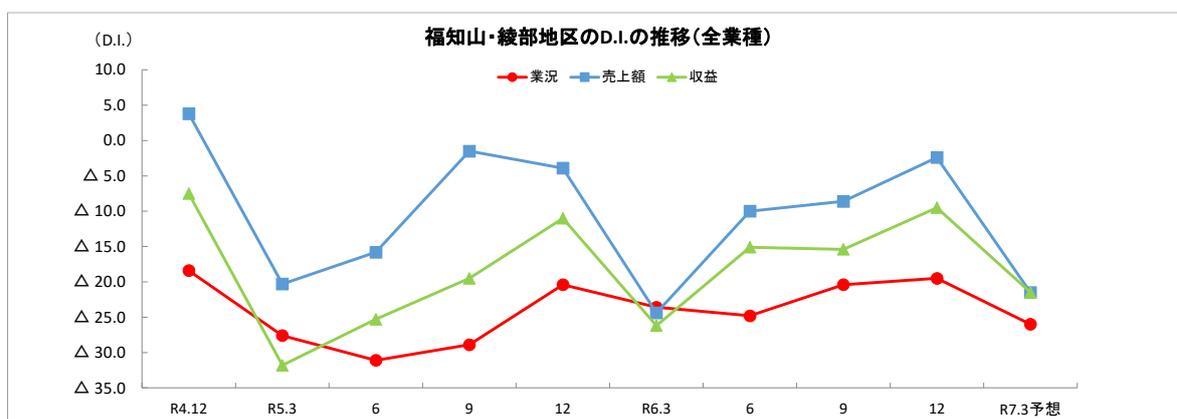
■ 福知山・綾部地区のD.I.の推移

調査時期	R5.12	R6.3	6	9	12	前期比	来期予想
業況※	△ 20.4	△ 23.6	△ 24.8	△ 20.4	△ 19.5	0.9	△ 26.0
売上額	△ 3.9	△ 24.4	△ 10.0	△ 8.6	△ 2.4	6.2	△ 21.5
収益	△ 11.0	△ 26.2	△ 15.1	△ 15.4	△ 9.5	5.9	△ 21.5
販売・請負価格	26.4	19.0	24.6	18.4	26.2	7.8	15.7
仕入・材料価格	54.3	51.9	56.9	48.1	48.5	0.4	41.6
在庫	1.7	△ 1.1	5.6	△ 1.1	1.7	2.8	△ 1.2
資金繰り	△ 13.9	△ 21.1	△ 14.2	△ 13.7	△ 11.0	2.7	△ 14.9
前年同期比売上額	△ 15.0	△ 23.1	△ 12.4	△ 10.8	△ 7.1	3.7	-
前年同期比収益	△ 27.1	△ 22.6	△ 13.3	△ 13.2	△ 17.1	△ 3.9	-
残業時間	△ 6.7	△ 8.6	△ 10.9	△ 5.2	△ 3.9	1.3	△ 7.3
人手	△ 28.4	△ 28.9	△ 28.2	△ 30.7	△ 30.6	0.1	△ 25.3
借入実施割合 (%)	19.8	20.0	16.8	18.5	20.0	1.5	17.2

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成17年9月期の△3.5、最低値：令和2年6月期の△64.1

- 福知山・綾部地区の今期の業況判断D.I.は、前期比0.9ポイント上昇の△19.5となりました。
- 売上額判断D.I.は、同6.2ポイント上昇の△2.4となりました。
- 収益判断D.I.は、同5.9ポイント上昇の△9.5となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比6.5ポイント低下の△26.0と悪化する見通しです。



■ 福知山・綾部地区：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
売上の停滞・減少	44.8 (①43.6)	経費の節減	45.7 (①44.1)
人手不足	28.6 (②36.0)	人材の確保	33.8 (③33.2)
原材料高	26.7 (③25.1)	販路の拡張	32.4 (②34.6)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

4. 特別調査

「2025年（令和7年）の経営見通しについて」

問1 貴社では、2025年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

日本の景気見通し

単位：先

	丹後	舞鶴	福知山・綾部	全地区
1 非常に良い	0	0	0	0
2 良い	3	2	4	9
3 やや良い	23	10	14	47
4 普通	49	47	80	176
5 やや悪い	85	53	85	223
6 悪い	23	23	23	69
7 非常に悪い	2	4	2	8
合計	185	139	208	532

単位：%

1 非常に良い	0.0	0.0	0.0	0.0
2 良い	1.6	1.4	1.9	1.7
3 やや良い	12.4	7.2	6.7	8.8
4 普通	26.5	33.8	38.5	33.1
5 やや悪い	45.9	38.1	40.9	41.9
6 悪い	12.4	16.5	11.1	13.0
7 非常に悪い	1.1	2.9	1.0	1.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

問2 貴社では、2025年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

自社の業況見通し

単位：先

	丹後	舞鶴	福知山・綾部	全地区
1 非常に良い	0	1	0	1
2 良い	5	1	10	16
3 やや良い	24	10	19	53
4 普通	69	52	90	211
5 やや悪い	67	58	73	198
6 悪い	18	10	15	43
7 非常に悪い	2	7	1	10
合計	185	139	208	532

単位：%

1 非常に良い	0.0	0.7	0.0	0.2
2 良い	2.7	0.7	4.8	3.0
3 やや良い	13.0	7.2	9.1	10.0
4 普通	37.3	37.4	43.3	39.7
5 やや悪い	36.2	41.7	35.1	37.2
6 悪い	9.7	7.2	7.2	8.1
7 非常に悪い	1.1	5.0	0.5	1.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

問3 2025年において貴社の売上額の伸び率は、2024年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

自社の売上額伸び率の見通し

単位：先

	丹後	舞鶴	福知山・綾部	全地区
1 30%以上の増加	1	0	1	2
2 20～29%の増加	5	4	3	12
3 10～19%の増加	19	13	16	48
4 10%未満の増加	38	20	36	94
5 変わらない	54	51	83	188
6 10%未満の減少	41	34	45	120
7 10～19%の減少	18	11	16	45
8 20～29%の減少	6	4	2	12
9 30%以上の減少	1	3	5	9
合計	183	140	207	530

単位：%

1 30%以上の増加	0.5	0.0	0.5	0.4
2 20～29%の増加	2.7	2.9	1.4	2.3
3 10～19%の増加	10.4	9.3	7.7	9.1
4 10%未満の増加	20.8	14.3	17.4	17.7
5 変わらない	29.5	36.4	40.1	35.5
6 10%未満の減少	22.4	24.3	21.7	22.6
7 10～19%の減少	9.8	7.9	7.7	8.5
8 20～29%の減少	3.3	2.9	1.0	2.3
9 30%以上の減少	0.5	2.1	2.4	1.7
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

問4 貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

自社の業況が上向く転換点

単位：先

	丹後	舞鶴	福知山・綾部	全地区
1 すでに上向いている	25	11	24	60
2 6か月以内	21	15	17	53
3 1年後	31	20	26	77
4 2年後	16	16	17	49
5 3年後	16	6	20	42
6 3年超	12	5	10	27
7 業況改善の見通しは立たない	58	64	80	202
合計	179	137	194	510

単位：%

1 すでに上向いている	14.0	8.0	12.4	11.8
2 6か月以内	11.7	10.9	8.8	10.4
3 1年後	17.3	14.6	13.4	15.1
4 2年後	8.9	11.7	8.8	9.6
5 3年後	8.9	4.4	10.3	8.2
6 3年超	6.7	3.6	5.2	5.3
7 業況改善の見通しは立たない	32.4	46.7	41.2	39.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

問5 貴社は、脱炭素化に向けて、信用金庫業界に対して期待する取組みはありますか。1～8の中から最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。また、貴社は、信用金庫業界が地域のために積極的に下の枠の取組みを行っていることを知っていますか。9～0の中から1つ選んでお答えください。

【脱炭素化に向けた取組みの事例】
情報提供：コスト削減事例の紹介、行政からの支援内容の紹介
現状把握：CO2排出量の算出サービスの紹介
計画策定：省エネ診断の紹介、CO2排出量削減計画の策定支援
対策実行：LED・高効率空調・太陽光発電の導入支援
資金供給：サステナブルファイナンス（SDGs・脱炭素化対応融資）

脱炭素に向けて信用金庫業界に期待する取組み

単位：先

	丹後	舞鶴	福知山・綾部	全地区
1 事例の紹介	31	29	38	98
2 行政からの支援内容の紹介	32	29	31	92
3 CO2排出量の算出	5	1	2	8
4 省エネ診断	5	1	3	9
5 削減計画の策定	3	2	2	7
6 設備導入支援	29	13	18	60
7 サステナブルファイナンス	4	2	3	9
8 特にない	60	56	88	204
合計	169	133	185	487

信用金庫業界の取組状況

9 知っている	35	23	33	91
0 知らない	127	109	147	383
合計	162	132	180	474

単位：%

1 事例の紹介	18.3	21.8	20.5	20.1
2 行政からの支援内容の紹介	18.9	21.8	16.8	18.9
3 CO2排出量の算出	3.0	0.8	1.1	1.6
4 省エネ診断	3.0	0.8	1.6	1.8
5 削減計画の策定	1.8	1.5	1.1	1.4
6 設備導入支援	17.2	9.8	9.7	12.3
7 サステナブルファイナンス	2.4	1.5	1.6	1.8
8 特にない	35.5	42.1	47.6	41.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

9 知っている	21.6	17.4	18.3	19.2
0 知らない	78.4	82.6	81.7	80.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

(問い合わせ先)	京都北都信用金庫 経営企画部 経営企画課
〒626-0041	京都府宮津市字鶴賀2054-1
TEL:	0772-22-5121 (代表)
FAX:	0772-22-7941
URL:	http://www.hokuto-shinkin.co.jp/

- ※ 単位未満四捨五入のため、内訳と合計が一致しない場合があります。
- ※ ほくとしんきん中小企業景況レポートの内容は著作権法により保護されていますので、引用・転載・複製等無断で行うことはご遠慮ください。